

コース名		工場管理者養成コース(第25期)			
研修のねらい	生産の基本要素であるQ・C・D改善の考え方や手法を体系的に学び、実践的な演習と個別指導を通じて、効果的な工場の管理・運営を行うことができる工場管理者を養成するマネジメント中心の研修です。 (1)工場管理者の職務と役割 (2)現場改善の基礎(5S+IE) (3)Q(品質)、C(コスト)、D(納期)の体系的理解と改善の着眼点 (4)現場改善演習と事例分析 (5)グループ方式による自社課題解決 (6)これからの製造業のあり方				
研修の特長	・工場の管理に携わる者にとって必要とされる生産管理の知識や手法について、体系的に学ぶことが出来ます。 ・毎月実施する課題研究において、研修で学んだ内容を現場で即実践しながら、自社の課題を解決するための策を作り上げることが出来ます。 ・管理者としての役割や知識を理解し、マネジメント意識・知識の向上が図れます。 ※毎回、講義の前に、自社の問題を題材とした、事前課題があります。詳細は受講決定後にお知らせいたしますが、データ分析や課題の抽出などが課題の内容となります。すべての事前課題についてご対応・提出可能な方がご受講下さい。				
研修期間	2018年6月19日(火曜)～6月21日(木曜) 2018年7月10日(火曜)～7月12日(木曜) 2018年8月20日(月曜)～8月22日(水曜) 2018年9月10日(月曜)～9月12日(水曜) 2018年10月16日(火曜)～10月18日(木曜) 2018年11月13日(火曜)～11月15日(木曜) 全18日(108H)				
受講対象者	管理者・監督者限定 ・工場長 ・生産現場の管理・監督者	定員	20名	受講料	179,000円

月日	時間	科目	内容	講師
6月19日(火曜)	9時10分～9時40分	オリエンテーション		担当職員
	9時40分～12時40分	工場管理者の職務と役割	企業経営における工場管理者の職務と役割を理解し、マネジメントサイクルに基づく、工場運営をリードする方法について学びます。 ・工場管理者の果たすべき役割 ・生産システムと生産管理	鈴木 規男 有限会社コンサルティング ベルオフィス 代表取締役
	12時40分～13時40分	昼休み		
6月19日(火曜)	13時40分～16時40分	現場改善実践(5S+目で見える管理)	現場改善の基本となる5Sの考え方、進め方について学びます。また、一目で管理の状態が正常か異常かをわかるように「目で見える管理の進め方」についても学びます。 ・生産現場における5Sの位置づけ ・5Sの考え方と進め方 ・自社5S改善演習(演習) ・目で見える管理の考え方 ・目で見える管理のステップと実践のポイント(演習)	鈴木 規男(前掲)
	6月20日(水曜)	9時20分～16時20分 (昼休み12時20分～13時20分)	現場改善実践(IE)	生産現場の3ム(ムリ・ムダ・ムラ)を省き、生産を合理化するための基本であるIE技法を学び改善アプローチを身につけます。 ・IEの基本的な考え方 ・IEの技法 ・時間分析 ・工程分析
6月21日(木曜)	9時20分～16時20分 (昼休み12時20分～13時20分)	現場改善実践(IE+ムダ取り)	・IEの技法 ・稼働分析 ・連続稼働分析(MMチャート) ・動作分析 ・IEと改善の方向性 ・改善活動の推進と3ムの排除(演習)	鈴木 規男(前掲)
月日	時間	科目	内容	講師
7月10日(火曜)	9時20分～16時20分 (昼休み12時20分～13時20分)	品質管理の考え方・進め方	生産管理における品質管理の考え方・進め方、品質保証についても学びます。 ・品質管理(QC)のねらい ・品質管理(QC)の進め方 ・品質保証と保証体制(ISO9000)	橋爪 準一 ステップスマネジメントコンサルタント事務所 代表
7月11日(水曜)	9時20分～16時20分 (昼休み12時20分～13時20分)	品質管理技法	現場における改善意識の徹底と問題解決に有効である、QCの考え方・進め方について理解するとともに、それに必要な品質管理手法について学びます。 ・QC7つ道具の使い方 ・QC的問題解決技法	橋爪 準一(前掲)
7月12日(木曜)	9時20分～16時20分 (昼休み12時20分～13時20分)	課題研究①	個別指導によって、自社の工場の改善について、本研修での知識を活用して課題研究を行い、今後の自社での改善に役立てます。 ・課題研究オリエンテーション ・自社の現状把握	立居場 誠治 橋爪 準一 葉 恒二 石田 恒之 大塚 泰雄
月日	時間	科目	内容	講師
8月20日(月曜)	9時20分～16時20分 (昼休み12時20分～13時20分)	原価管理	コスト・利益の基礎知識と原価管理活動の全体像を学びます。 ・企業活動と原価の流れ ・原価ロスとコストダウンのねらいどころ ・コストダウンの2つの側面 ・効果のコストダウンテーマを見つける	大塚 泰雄 株式会社MEMマネジメント サービス 常務取締役
8月21日(火曜)	9時20分～16時20分 (昼休み12時20分～13時20分)	コストダウン実現へのポイント	コストダウン活動を行う上での実施のポイントについて学びます。コストの把握と改善アプローチを体感することで、原価管理の基本ステップと改善ポイントを学びます。 ・原価管理をコストダウン成果につなげる ・管理と改善のコストダウン余地	大塚 泰雄(前掲)
8月22日(水曜)	9時20分～16時20分 (昼休み12時20分～13時20分)	課題研究②	・自社の課題の絞り込み及び調査項目の検討(宿題:調査項目についてのデータ収集等)	課題研究講師5名(前掲)

月日	時間	科目	内容	講師
9月10日(月曜)	9時20分～16時20分 (昼休み12時20分～13時20分)	生産管理の考え方とリードタイム短縮アプローチ	在庫や仕掛りを減らしながら『必要な物』を『必要な時』に『必要なだけ』製造する手法するための生産管理の考え方を学びます。また、納期を守るためにリードタイムを短縮するための改善の手法も学びます。 ・生産管理の考え方 ・リードタイムの解釈と把握法(現状分析) ・リードタイム短縮のための改善手法	葉 恒二 葉中小企業診断士事務所 代表
9月11日(火曜)	9時20分～16時20分 (昼休み12時20分～13時20分)	生産計画の考え方・進め方	効率的な生産を進めるための生産計画の立て方、進捗管理の方法について学びます。 ・生産管理の種類と特徴 ・日程計画の考え方・進め方 ・生産管理システム	葉 恒二(前掲)
9月12日(水曜)	9時20分～16時20分 (昼休み12時20分～13時20分)	課題研究③	・自社課題の改善計画案の検討 (宿題:改善計画の試行と新たな課題の抽出等)	課題研究講師5名(前掲)
月日	時間	科目	内容	講師
10月16日(火曜)	9時20分～16時20分 (昼休み12時20分～13時20分)	総合演習	これまでに学んだこと的应用編として、実際の事例を用いたグループ演習を行い、生産システムの改善、マネジメントのあり方など総合的な視点から学ぶとともに、工場管理者の職務と役割について、再考します。	立居場 誠治 株式会社IMEコンサルティング 代表取締役
10月17日(水曜)	9時20分～16時20分 (昼休み12時20分～13時20分)	課題研究④	・自社課題の改善計画策定及び見直し ・報告書案の作成 (宿題:改善計画の再試行・報告書の加筆・修正)	課題研究講師5名(前掲)
10月18日(水曜)	9時20分～16時20分 (昼休み12時20分～13時20分)	課題研究⑤	・自社課題の改善計画策定及び見直し ・報告書案の作成 (宿題:改善計画の再試行・報告書の加筆・修正)	課題研究講師5名(前掲)
月日	時間	科目	内容	講師
11月13日(火曜)	9時20分～16時20分 (昼休み12時20分～13時20分)	課題研究⑥	・自社課題の改善計画策定及び見直し ・報告書案の作成 (宿題:改善計画の再試行・報告書の加筆・修正)	課題研究講師5名(前掲)
11月14日(水曜)	9時00分～19時00分 (昼休み12時20分～13時20分)	課題研究⑦-報告会-	課題研究のまとめとして、自社課題の改善案を報告書としてまとめ、発表します。 ・報告書の作成 ・個別プレゼンテーション ・講師講評	課題研究講師5名(前掲)
11月15日(木曜)	9時20分～12時20分	これからの製造業のあり方	工場管理者として知っておきたい、最新の経済情勢や中小製造業のあり方について学びます。 ・製造業を取り巻く環境 ・今後の製造業の動向 ・中小製造業の今後のあり方	柿内 幸夫 株式会社 柿内幸夫技術士事務所 コンサルタント
	12時20分～13時00分	終講式		担当職員

※カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。※ 研修初日の16:50ごろから交流会を開催する予定です。

講師氏名	略歴
◆鈴木 規男 (すずきのりお) (有)コンサルティングベルオ フィス 代表取締役	1954年生まれ、1978年慶応義塾大学工学部管理工学科卒。ヤマハ発動機(株)を経て、1994年8月経営コンサルタントとして独立、コンサルティングベルオフィス設立。専門分野は5S、IE、生産管理等。国内外においてコンサルティング活動を行う他、中小企業大学校各校や日本IE協会、日本能率協会等の研修の講師としても活躍し、理解しやすく楽しい講義には定評がある。
◆橋爪 準一 (はしづめじゅんいち) ステップスマネジメントコンサル タント事務所 代表	日清紡績(株)にて、設備保全、生産管理、品質管理に従事し中小企業大学校東京校の中小企業診断士養成課程工業コース第27期修了。中小企業診断士(登録番号105901)。1989年より独立し現職。元当校登録研修指導員。品質マネジメントシステム主任審査員(JRCA登録 A 02211)。
◆大塚 泰雄 (おおつか やすお) (株)MEMマネジメントサービ ス 常務取締役	大手工作機械メーカーに11年勤務。主に企業では、設計・生産技術・購買・製造部門の原価管理システムの立案・構築・実施やVE、IE、購買査定テーブルを活用した、総合的コストダウンを展開し、企業の業績を改革するコンサルティング業務が活動の中心である。その他、公開セミナー、社内研修などの活動も行う。
◆葉 恒二 (よう こうじ) 葉中小企業診断士事務所 代表	自動車部品会社、化学品会社にて金型設計、生産管理、生産技術、加工技術開発に従事。企業での経験を活かして、一貫して国内外のものづくりの第一線で現場改善、技術開発に携わる。
◆立居場 誠治 (たていば せいじ) (株)IMEコンサルティング 代表取締役	大手建材メーカー(工場・研究所勤務)後、(株)MEMS、(株)タナベ経営を経て独立。主な著書として、「技術者のための原価企画」(共著)日本能率協会、「理想原価への挑戦」(共著)日本能率協会がある。
◆石田 恒之 (いしだ つねゆき) マネジメントコンサルタント	大学院修了(商学修士:会計学専攻)後、1980年、日本能率協会コンサルティングに入社。当初はIEをベースにした製造業の生産性向上・業績改善を中心にコンサルティングを行う。その後、利益に直結する支援をモットーに、原価管理、物流原価計算、品質原価計算など、現場の活動を会計数値に繋げるテーマに広げていった。近年は製造戦略に基づく方針管理と予算管理を連動させる支援を行っている。
◆柿内 幸夫 (かきうち ゆきお) (株)柿内幸夫技術士事務所 コンサルタント	東工大卒、工学博士。技術士(経営工学)。大手自動車メーカーにて一貫して生産効率改善(IE)を担当し、その改善手腕を見込まれて、社命にてスタンフォード大学大学院へ留学。帰国後、IE責任者として全国の主力工場を指導し抜群の効果を上げる。その後、改善コンサルタンツ(株)へ入社し、国内の家電・食品・IT関連メーカー等の指導、中国・アジアの工場の指導にも携わる。独立し現職に至る。

第25期 工場管理者養成コース 受講申込書

コース
No. 3

中小企業大学校 東京校長 あて

年 月 日現在

フリガナ				代表者役職			
会社名	創業年：西暦 年			代表者氏名			
所在地	〒 都道府県						
TEL				FAX			
業種	E. 製造業 I-1.卸売業 I-2.小売業 R. サービス業 D. 建設業 G. 情報通信業 H. 運輸業 M. 旅館業 Z. その他 具体的に()	業種分類 (製造業のみ○印をおつけください)	9.食品 10.飲料 11.繊維 11.衣料 12.木材 13.家具 14.紙 15.印刷 16.化学 17.石油 18.プラスチック 19.ゴム 20.皮革製品 21.窯業 22.鉄鋼 23.非鉄金属 24.金属製品 25.はん用機械 27.業務用機械 28.電子部品 29.電気機械 30.情報通信機械 31.輸送用機械 32.その他製造業				
主要取扱品目	資本金		万円	従業員数	人 (うちパート 人)		
東京校での受講実績	ある (経営後継者・経営管理者・工場管理者養成コース・その他) ない				人材育成計画作成への関心 ある ない		
研修情報の入手先	1.メルマガ・チラシ 2.研修ガイド 3.ホームページ 4.受講者の紹介 5.商工団体等 6.金融機関 7.新聞・雑誌 8.テレビ・ラジオ 9.区市等の機関誌 10.展示会等 11.その他 ()						
フリガナ	部署			担当者 E-mail			
事務連絡担当者	役職						

受講者履歴書

フリガナ				生年月日(西暦)	年齢	性別
氏名				年 月 日	歳	男・女
所属部署				役職	勤続年数	年
担当業務の内容				(役職を記載の上、該当区分に○)	代表者 役員 管理者 管理者候補等	担当業務
所属部署所在地	〒 都道府県					
	TEL:		受講者E-mail:			
	FAX:		(パソコンメールのみ)			

※受講者E-mailは、受講決定後、事前課題のご連絡に使用いたしますので、パソコンのアドレスをご記入ください。

年(西暦)	主な職歴・資格

入寮希望(該当箇所の○印をおつけください。)

希望する※	○	希望しない	○	※入寮予定日については、受講決定後に確認します。
-------	---	-------	---	--------------------------

東京校メルマガ発行時の送信可否	可 ・ 不可
-----------------	--------

個人情報の保護について 個人情報保護法に定義されます個人情報に該当する情報については、当機構内で実施する事業で使用させていただきます。当該個人情報の第三者(業務委託先を除く)への提供または開示はいたしません。ただし、お客様の同意がある場合および、法令に基づき要請された場合については、当該個人情報を提供できるものといたします。

研修時に使用する企業情報について 当研修では、カリキュラムの中で講師や他の受講者を交えた自社課題の演習があり、課題ワークシートや製造現場の写真・映像などの持参をお願いしております。

大学校使用欄

--	--	--	--